

【NEWS RELEASE】

2023年3月8日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「健康経営銘柄」および「健康経営優良法人（大規模法人部門）」認定について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純 以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、本日、経済産業省・東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2023」に認定されました。

また、当社を含むグループ会社8社は、日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。



<「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されたSMBCグループ各社>
株式会社三井住友フィナンシャルグループ（株式会社三井住友銀行）（7年連続）※
三井住友ファイナンス&リース株式会社（2年連続）※
SMBC日興証券株式会社（6年連続）※
三井住友カード株式会社（3年連続）※
SMBCファイナンスサービス株式会社（5年連続）※
SMBCコンシューマーファイナンス株式会社（4年連続）
株式会社日本総合研究所（5年連続）
三井住友DSアセットマネジメント株式会社（4年連続）
※今回、上位500法人が選ばれる「ホワイト500」に認定。

「健康経営銘柄」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践している上場企業の中から特に優れた企業を選定するものです。また「健康経営優良法人認定制度」とは、優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」し、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境整備を目的とした制度です。認定法人のうち、上位500法人が「ホワイト500」として選定されます。

SMBCグループでは、社員の心身の健康保持・増進こそが企業価値を高め、競争力強化に繋がるものと考え、健康経営を推進しています。グループ各社において「健康経営宣言」を制定し、最高健康責任者（Chief health officer）の下、企業・健康保険組合・健康サポートセンターの三位一体で、従業員が健康で生き生きと働くことができる環境整備に取り組むほか、SMBCグループで健康推進に係る情報交換会を定期開催する等、健康経営を「経営課題」と捉えたグループ一体での健康推進への取組を行っています。

今後も、従業員一人ひとりの心身の健康保持・増進を実現し、あらゆるステークホルダーとともに持続的に成長するため、健康経営の推進を加速してまいります。

以 上